

だご議 たより 会

No140

平成26年
7月31日発行

平成26年
6月定例会・7月臨時会

一般質問

【9人の議員が町の考えを問う】

大野貞夫議員 岩崎律夫議員 神谷長平議員
松村 潤議員 原 義裕議員 坂井孝次議員
塩井早苗議員 小島幸典議員 小沢泰治議員

- 可決された議案……………2
- 一般質問……………2~10
- わたしのふるさと等……10~12



消防団ポンプ操法競技大会

可決された議案

6月定例会

【報告】

西邑楽土地開発公社経営状況の報告

平成26年度事業計画・予算及び平成25年度決算に関する報告がされました。

【専決処分の承認】

邑楽町条例の改正

邑楽町都市計画税条例の改正

邑楽町国民健康保険条例の改正

地方税法等の一部を改正する法律が、4月1日から施行されたことに伴い、専決処分された税条例の改正について、承認しました。

【条例の改正】

邑楽町税条例等の改正

地方税法等の改正に伴い税条例を改正しました。
〔主な改正内容〕

・町民税 法人税率の引き下げ規定の整備

・固定資産税 公害防止用設備等に係る課税標準の特例措置（わがまち特例）の対象となる償却資産に新たに7つの施設設備を追加

・軽自動車税 標準税率の引き上げと経年車の重課税率の導入

邑楽町立児童館の設置及び管理等に関する条例の改正

邑楽町立中央児童館の完成に伴い、設置場所等について条例を改正しました。

【町道の路線認定】

今年9月の東毛広域幹線道路全線開通に伴い、国道から降格し町へ移管される旧国道354号について、町道の路線認定をしました。

【契約の締結】

邑楽町立高島幼稚園改築工事（建築工事）

契約金額（消費税込）
3億672万円

契約の相手方
邑楽町赤堀
株式会社 徳川組

7月臨時会

農業委員の推薦

農業委員会等に関する法律第12条の規定により議会が推薦する農業委員に、福島文子さん（光善寺）内田 惺さん（石打）齊藤岳己さん（篠塚）を推薦しました。

【ロケモ】専決処分ってなに？

議会が議決をしなければならぬ議案について、町長が議会を招集する時間的余裕がない緊急の場合に、町長が議会に代わって処理を行うことです。この場合、次の議会に報告し承認を求めなければなりません。

平成26年度補正予算額

会計別	一般会計
予算現額	82億2,500万円
補正額	9,756万円
予算総額	83億2,256万円

一般質問

一般質問は、6月16日及び17日に行われました。質問には、9人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

学童保育拡充の課題と子ども子育て支援制度

大野貞夫議員 学童保育と児童館の役割や違いについて町長の見解は。

町長 児童館については、児童福祉法に基づき、児童に健全な遊び場を与え、情操豊かな子どもを育てるということで設置されている。学童保育については、保護者が就労等によって、家庭にいない場合に、その保護者に代わって保育をするということである。

大野貞夫議員 児童福祉事業として位置づけられているのが学童保育。いわゆる家庭の延長と考えている。放課後、学童保育にくる子ども達は、「ただいま」といつて帰ってくる。学童保育は、若い親達が、自主的

に制度として要求していたが、なかなか実現しないやむを得ず親同士が運動の中で立ち上げて、自らが運営してきた中で、国も子ども・子育て支援法として、来々年4月1日からの本格的施行を目指して準備を進めている。学童保育と児童館の違いは、しっかりと押さえる必要がある。そこで今町における学童保育の現状と課題について町長の考えは。

町長 児童館で行っている放課後児童対策と学童保育で行っている保育児童対策は、これは充実していかなければならない。今後、条例化に向けて、また、子ども・子育て会議で十分意見を聞く中で、町の児童育成

の充実を図っていききたい。

大野貞夫議員 今、町では児童館に相当数の子ども達がお世話になっている。親達の本音は、私の受け取るという親が相当いる。ところが、保育料や付随してかかる費用がばかにならない。そういう意味で、入りたくても入れない相当数の子どもがいる。確かに新しく児童館をつくる。それは評価するが、そこにいる子ども達が多いかという点、お金がかからないからである。学童保育は家庭の延長であり、そこに建物と専任の指導員がいて、そして厨房もある。おやつなどを作って与える設備も整ったと



学童保育所「くらかけ広場」

ところに、児童館とは違ったものがある。本当の子育ての中で、もちろん児童館としての役割はあるが、私はむしろ学童保育の充実こそ目指すべきと考える。最初に計画を作って、県や国に出していくことにより、交付金が決定される仕組みになっている。その点からすれば、あまり時間はない。

その点どのように考えているか。

学童保育と児童館を充実

町長 3法の改正があった。

行政運営の課題と取り組みについて

岩崎律夫議員 邑楽町における行政運営の課題について考えを聞きたい。

町長 一つには効率的・効果的な行政運営。二つ目には組織機構の見直しと職員の定員管理。特に機構改革により、機能的に効果が発揮できるような組織体制にした。三つ目は協働の町づくりの推進が挙げられる。

岩崎律夫議員 行政運営の課題解決のため、どう改革に取り組むのか。協働の町づくりについて、3月末で締めた4グループの活動計画に対し、実績がどのようであったか評価し、見直し

岩崎律夫議員 行政運営の課題解決のため、どう改革に取り組むのか。協働の町づくりについて、3月末で締めた4グループの活動計画に対し、実績がどのようであったか評価し、見直し

その支援制度の中で、各種事業が示されている。今、町も子ども・子育て会議を進めている。これらを踏まえて、これからの学童保育の充実と児童館の充実を図っていききたい。

岩崎律夫議員 さらには町民自治を進めていくため、町が考えている施策は。

町長 今後の町づくりの施策は多岐にわたるが、やはり高齢化問題と少子化問題は差し迫っている問題でもあり、これらの充実に向けて力を入れていきたい。

岩崎律夫議員 行政運営の課題解決のため、どう改革に取り組むのか。協働の町づくりについて、3月末で締めた4グループの活動計画に対し、実績がどのようであったか評価し、見直し

強化への取り組みについて、第3次邑楽町行政改革大綱には「限られた人員と財源の中で、さまざまな行政課題への対応が求められている。施策、事務事業の見直しを進め、選別や重点化を図り、効率的な事務事業の実施を図ります」としている。事務事業は増える一方である。そこで私は、事務事業全てについて見直しを進めることを提案したい。見直しの仕方について例にとると、1つは必要性、2つは妥当性、3つは費用対効果、4つは成果についてそれぞれ、例えば必要性の中では、こういう項目を評価基準として見直しをする。事業の今後の方向性が見えてくる。やるのなら今である。

町長 行政が実施した事務事業の結果の検証は、事務事業推進のために必要で、見直しはやるべきである。

岩崎律夫議員 町が支出し

ている補助金について、受け入れ側の結果がどのようになっているのか調査し、見直しすべきではないか。

町長 補助金については、費用対効果が十分上がるよう支出することが必要になってくる。

満足度調査を実施する

町長 行政サービスについて町民の皆さんがどのように考えているか、満足度調査は当然必要だ。今年度2000人規模のアンケート調査を実施する予定である。同時に町民の皆さんが考えている、要望しているニーズ調査もしていきたい。



本郷高原地区の経過とついで

神谷長平議員 平成26年3月の私の一般質問で、町長は地権者の9割以上の方から工業団地にする同意を貰い、市街化区域編入の手続きをしていると答弁した。その後、4月8日に開かれた全員協議会の中で、本郷高原地区の工業団地造成についての経過が報告された。

わずか1カ月で状況が全く違った。このような大事業の計画を進めるにあたっては、もう少し慎重に取り組む必要があったのではないのか。

町長 当然、その地域についていろいろ調査を行った経緯がある。3月下旬に入り、県から具体的に水量解

析が示された。それによると、湛水と同時に1級河川新堀川の改修とあわせての解析では、工業団地として適さない。その結果をもとに、この地域の工業団地造成は断念した。

神谷長平議員 解析結果が出たのであれば、工業団地予定面積25・5ヘクタールの盛り土された場合の湛水状況は、どれくらい水位が上昇するのか。
都市建設課長 具体的な部分に関しては、把握していない。



工業団地造成を断念した本郷高原地区

神谷長平議員 町道16-13号線が盛り土し整備された。新堀川があふれたときに堰にならないように計画実施されたものと思っっている。湛水の影響が出るのか、出ないのか。もし出るような場合であれば、どの範囲まで広がるのか。
町長 新堀川と逆川の合流する橋のところが改修している。新堀川から入って

る水の当たり場を滑らかにし、少しでも湛水問題が解決できるような施策を県にお願いし実施している。全く被害がない、影響がないということは言い切れない。

神谷長平議員 工業団地にするため、市街化区域編入手続きの同意書を高原用水組合の役員に取りまとめをお願いし、その後、用水組合の役員や地権者にどのような対応をしてきたのか。

町長 90%を超える地権者から同意書を得て、県の都市計画課に市街化区域編入の手続要請を行った。

神谷長平議員 同意書は町だけでなく、県にも提出されているのか。

町長 県の方には提出していない。報告のみということである。

神谷長平議員 本来ならば、調査を行うための承諾書か同意書を取り、調査を実施した結果、事業実施が可能になったとき、初めて市街化区域編入の同意書を取りまとめるべきではなかった

松村 潤議員 不育症とは、妊娠が困難な不妊症と異なり妊娠はするが、流産や死産、新生児死亡などを繰り返し、結果的に子どもが持てない場合の事をいう。不育症の患者は適切な検査と

のか。町長の公の場での発言は非常に重い。町民や県からも信頼をなくす。

県や地権者の方に迷惑をかけた

町長 県や地権者の方に迷惑をかけた。町の財政問題を考え、一生懸命進めてきた経緯でもある。県の指導に基づいてやってきたが、水の解析の部分が問題なければ、進めていったかもしれない。ご理解いただきたい。

その他の一般質問
・人口減少について
・都市下水路について

不育症について

治療を行えば、85%の人が出産できるという研究結果も出ている。しかし、治療のための検査には保険が適用されないものもあり、患者の負担は通常の妊婦の出産費用に、さらに30万円位

かかると言われている。若い夫婦にとって経済的負担が問題になっている。経済的な理由で子どもをあきらめてしまう不育症の方に、救いの手を差し伸べるべきと考えるが。

健康福祉課長 町では不妊症治療に対して経済的負担の軽減を図っている。不育症治療の助成も、今後の課題として研究する。

松村 潤議員 厚生労働省の調査によると2回以上流産し、不育症と見られる方は6・1%で、実に16人に1人の割合で不育症患者がいることが解っている。この数値を町に当てはめると、平成24年度の出産届件数は172件で、おおよそ10人の赤ちゃんが生まれてくることのできなかつたことになる。これは町にとっては、大変な損失であり、未来からの使者である町の宝を失ったことにもなる。この不育症に対する対策、公費助成をすることによって、

人口増加が間違いなく期待できると考えるが。
健康福祉課長 助成制度を行うことにより経済的負担が減って、子どもを授かる人が増えれば、人口増加につながるものと考える。

松村 潤議員 民間の有識者らで構成する「日本創生会議」の発表によると、2040年までの間に、子どもを産む中心的な世代である20歳から39歳の女性の数が半数以下になると試算を示し、896の自治体で将来消滅する可能性があることを分析している。その中に邑楽町も入っている。これは深刻に受け止めなければならぬ。何もしなければ消滅するかもしれない。そうならないようにするための対策の一つとして女性の声を施策に反映したのが、不育症への公費助成であると思っっている。子育て支援は、子どもがいる人達だけの支援ではなく、出生前の不妊症や不育症に悩む夫婦への

公費助成を前向きに考える

町長 平成16年から不妊症の特別治療助成は行っている。不育症の治療についても治療の公平性を考えれば、公費助成も必要で、充分研究し前向きに考えていく。

その他の一般質問
・介護ボランティアポイント制度について

活気ある邑楽町づくりについて

原 義裕議員 町の基本計画となる第六次総合計画は、平成28年から聞きたい。

企画課長 平成28年度を初年度とし、第六次総合計画策定準備をしている。

原 義裕議員 今年度、550万円の予算を計上している。方針や基準等々はどのようにされるのか。

企画課長 業者選定委員会を開催し、委託業者を決定した。町の将来の具体的な設計図、町の諸課題解決を見据えたものになる。

原 義裕議員 第四次及び第五次総合計画を見てもほとんど変わっていない。地方自治法が改正され、基本構想の策定義務がなくなり、各市町村が独自の判断で策定できるようになった。町長の意見を聞きたい。

町長 法改正があったとしても、町民の皆さんの意見を集約し、町づくりについて議論していく。

原 義裕議員 町政懇談会の開催や町民の意見聴取、各種団体等々の意見を聞く機会を作るのか。

町長 総合計画を作成するために、町民の皆さんの意見を聞き、反映する。

原 義裕議員 地方分権の名を借りて、自助努力を求められている、勝ち組になって欲しい。住民課長に現在の状況と20年後の人口推移を聞きたい。

住民課長 平成26年3月末の町の人口は2万7223人。資料では20年後の人口は2万2014人になり、5209人の減になっている。

原 義裕議員 目に余る数で減っていく。自然増が見込めないのであれば、他のところから誘致をしていただく。

きたい。税務課長に2、3年後の町の税収を聞きたい。

税務課長 アベノミクス効果は、まだ大企業や一部企業にとどまり、団塊世代の退職や少子高齢化に伴う人口減少による税収は、2、3年後も依然として厳しい。

原 義裕議員 町長が公約にした「道の駅」構想は、その後どのように進展したのか。

町長 当初は3町でと考えていたが、現段階では進展していない。

原 義裕議員 町独自の「道の駅」構想は無いのか。

町長 町だけではなく、JA Aとの話も出ている。特に町ということではなく、JA Aの要望に沿った協力をしていく。

原 義裕議員 「道の駅」構想は、町長の公約として主導的にと理解していたが。

町長 今は進んでいない。

原 義裕議員 工業団地の

誘致について聞きたい。

町長 5年に一度の見直しはあるが、工業団地を断念したことにより、その次の5年後になってしまう。将来に向かつて考えていく。

原 義裕議員 第六次総合計画がさびしく、町民が夢

をもてない町づくり計画になるのでは。

真剣に 取り組んでいる

町長 町づくりについては、真剣に取り組んでいる。

観光施策について

坂井孝次議員 最近のマスコミ報道で一番目を引いたのは「消滅可能性都市896、全リストの衝撃」だ。少子化がこのまま進むと、2040年には自治体の半数が消滅するという。そのリストに邑楽町も入っている。どうしたら少子化を止められるか真剣に考えなければならぬ。私は観光事業に力を入れて、邑楽町のよさを首都圏近郊に積極的にPRすることを考えている。そうすることが、Uターン、Iターンにつながる、人口増につながるの

考えで質問したい。町は観光の中心に何を据えるのか。

商工振興課長 平成5年の開館以来、30万人が訪れているシンボルタワーや白鳥が飛来するガバ沼を観光の核に位置づけている。

坂井孝次議員 多々良沼周辺の観光客の数は年間どれくらいか。

商工振興課長 観光客のデータをとっていないが、昨年の5月に大型バスが10台来た。また、白鳥飛来の時期にはマイクロバスが毎年数台、ガバ沼に来ている。

坂井孝次議員 住みやすい町を首都圏中心にPRすることがUターン、Iターンにつながるかと確信するが、町長の考えは。

町長 首都圏から近いということもあり、PRは大切であると思う。

坂井孝次議員 今年の春、おうら中央公園内の幸の池で整備事業が行われたが、目的と工事内容は。

都市建設課長 葦の発生を抑えるため、岸から4メートルの範囲を掘削し、防草シートを敷き、その上にゲリ石を敷いた。

坂井孝次議員 この池では釣りを楽しむために釣り場を自分達で作っているが、メタンガスでシートが浮き、



The Lounge
— 休憩室 —



工藤 徳孝
(光善寺・15区)

息子に教わった事

私の家は、両親・祖母・私と妻・息子3人の8人家族です。今どき珍しい大家族で、賑やかな息子は毎日喧嘩が絶えません。

ある日、小学2年生の長男に「僕はこの家の子どもだからずっと邑楽町に住んでいいんだよね」と突然聞かれ、私は驚きながらも「いいんだよ」と返しました。また後日、テレビを観ながら「あ、僕、邑楽町でよかった」と。どうしたと聞くと、「邑楽町は安全で、公園も綺麗だもんね」と。

妻にこの話をすると、遠くへ引っ越した同じ保育園で育った友達と先日久しぶりに遊んだとのことでした。

邑楽町で生まれ育ち32年間、私はこの町を誇りに思ったことがあったらどうか。息子が感じとった感情から「我がまち邑楽」を考えるに至り、災害もなく、子ども達が大好きな綺麗な公園に恵まれ、冬には白鳥がやってくる素敵なこの町に生まれ育ったことを今は誇りに思います。



西巻 千代子
(石打・20区)

小さな幸せ

邑楽町に戻り住んで3度目の夏を迎えました。田植後の緑一色の中に水をたたえた風は心地良いものです。

夜になると蛙の大合唱が始まり、なかなか寝付かれない。「うるさい」と思いながら鳴き声を聞いていると大合唱が一瞬、ヒタリと止まる。しかし、数匹の蛙が鳴き出すとまた元の大合唱に戻る。勝手気ままに鳴いているようにも聞こえるが、蛙の合唱には数学的法則があるという論文まであるそうです。

これは蛙だけではなく、蝸(ひぐらし)も同じような鳴き方をします。夕暮れ時の蝸の音は何とも物悲しく味わい深いものがあります。この鳴き声を聞けるなら、食事を抜いても良いと言っている程です。

初夏から秋、虫の音には事欠かない。田舎に住む者の特権かもしれない。日々の生活の中で、小さな幸せを感じる今日この頃です。



釣りもできない。この池の管理は県とのことだが、県・町・利用者と一緒に整備する考えをどう思うか。

都市建設課長 今後、このような機会があればこちらからも提案を行い、よりよい方向に進むよう働きかけをしたいと思っている。

坂井孝次議員 近いうちに都市直下型地震が来ると言われている。都市機能が崩壊すると、多くの人が近隣の県に流れ込む。これは間違いない。そういう予測が

児童の健やかな成長と発達のために

塩井早苗議員 邑楽町の児童館は、南・北・中央・東と4館整備され、ハード面は充実した。今後の問題は内容であり、児童館の運営方針は。

町長 児童館の運営は運営委員会が協議している。幼児への個別的及び集団的な

できる今だからこそ、震災が少ない町、住みやすい町、白鳥のいる町を首都圏近郊にPRしてもらいたい。町長の考えは。

観光事業をPR

町長 邑楽町は都市直下型地震では危険区域の指定になつていない。しかし、過去に大きな災害もないので、今後は先ほどの観光事業とあわせて、安心して生活できる町であることをPRしていければと考えている。

児童の健やかな成長と発達のために

遊びの指導を通じて、人との関わりやルールを学び、心身ともに健やかに育てていくことを目的としている。特に、女性の就労の増加や少子化の問題、仕事と子育ての両立支援を兼ね備え、児童の健全育成を図るために、児童館の中で放課後児

遊びの指導を通じて、人との関わりやルールを学び、心身ともに健やかに育てていくことを目的としている。特に、女性の就労の増加や少子化の問題、仕事と子育ての両立支援を兼ね備え、児童の健全育成を図るために、児童館の中で放課後児

童クラブも実施している。

塩井早苗議員 国の児童福祉法の中では、屋内外の地域活動や遠隔地でのキャンプ等必要な活動の一切を含んでいる。現実に児童館と学童保育ではギャップがあり、近づける努力は必要である。児童館の厚生員の資格や研修の状況は。

町長 厚生員は各館に5人配置され、特に北児童館には6人の計21人が配置されている。21人中、3人が保育士、9人が幼稚園と小学校教諭の資格、5人が保育士・幼稚園・小学校の資格を持つている。研修は、群馬県児童館連絡協議会が主催する児童厚生員研修会が年4、5回行われ、厚生員が交代して出席している。

塩井早苗議員 各児童館の1日当たりの利用状況は。
町長 南児童館は一般の児童113人、留守家庭児童47人で計160人。中央児童館は一般130人、留守

改善するよう努力する

いる子どもに何のおやつも無いというのは問題である。春休みや夏休みに、留守家庭児童はお弁当持参で食べているが、祖父母等が家にいる家庭でも、希望者には弁当を持たせることで対応できないか。

町長 おやつを出すことは毎日となると難しい状況であるが、地域の農畜産物を取り入れた中で対応できるのではないかと。弁当を床で広げて食べているという状況については、改善するよう努力する。



塩井早苗議員 児童館の改善について、まずはおやつ。食育は子供の成長段階で重要である。茹でたジャガイモや蒸したサツマイモでもいい。6時半まで延長して

町歴史文化遺産の保護について

小島幸典議員 町の指定文化財は、天然記念物や重要文化財等で約30件ある。他にも邑楽町には遺跡があり、我々の時代に消してしまわないように守らなければならぬ。邑楽町遺産認定制度を新設して、今までの功績をたたえ、後世に伝えることも含めて、町遺産の登録制度を新設していただきたい。

町長 いろいろな形で町には遺跡がある。教育委員会が管理し、保存を行っている状況である。歴史遺産は貴重な町の財産として保存し、継承していくべきだということについては議員の考えと同感である。

教育長 文化財については、専門家の方に文化財保護調査委員として委嘱して、町の文化財を守り、町民に広めるように努めている。また、文化財の保護については、修復等の必要が生じた

場合には、上限を決めて補助する制度もある。制度創設については、今後の検討課題である。

小島幸典議員 現在、文化財に指定されているものに対しての補助ということがあるが、それとは別に新しく、既定のものではなく、新しい発想で邑楽町遺産として新設して欲しい。中学生、高校生が委員に入り、おじいちゃんやおばあちゃんが一生涯ここで仕事をしていたのだというようなことがあってしかるべきだと思う。新しい発想で人材育成と社会産業の発展を含めれば、もっとより良い町づくりになる。

教育長 町でもさまざまな文化遺産がある。文化財保護調査委員とともに見つけ、それを大事にしていくための制度を創るとか、調査委員との会議の中で方向性を

決めていきたい。個人的には、町の遺産として何らかの形で大事に残るようにしていきたいが、町の制度や補助の関係もあるので、前向きに検討していきたい。

小島幸典議員 歴史を大事にするということは、人を大事にするということにつながる。人を大事にする人が育つ。文化的にも人の交流があると、結果的には邑楽町の活性化につながるはずであり、これからの文化財の掘り起こしは非常に大事である。とにかく私が町の三役に申し上げたいのは、みんなが親しんで大事にしていたものがあつという間に、歴史の中で消えてしまうのは寂しいという感じがある。町長は、邑楽町遺産認定制度の創設をどう思うか。

今後検討していく

町長 そういう制度を創る



改築された邑楽町立中央児童館

議会のうごき

5月

- 21日 西邑楽土地開発公社理事会
- 27日~28日 全国町村議会議長会議長・副議長研修会
- 29日 議会運営委員会
- 30日 総務教育常任委員会
産業福祉常任委員会

6月

- 2日~3日 群馬県町村議会議長会臨時総会
議長・事務局長研修会
- 4日 全員協議会
- 13日~19日 6月定例会（本会議、議会運営委員会、各常任委員会、全員協議会、広報委員会）
- 26日 邑楽館林医療事務組合議会臨時会
館林地区消防組合議会臨時会
- 27日 太田市外三町広域清掃組合議会
- 29日 邑楽消防団班対抗ポンプ操法競技大会
- 30日 館林地区消防組合水防協議会
邑楽館林地域市町村懇談会

7月

- 4日 広報委員会編集会議
群馬県町村議会議長会監査
- 10日~11日 全国議会広報研修会
- 13日 館林地区消防組合消防団ポンプ操法競技大会
- 15日 議会運営委員会、全員協議会
第1回臨時会
- 17日 広報委員会校正会議
- 24日 群馬県町村議会議長会役員会
- 30日 邑楽館林医療事務組合議会臨時会

必要があるかは、慎重に考えていかなければならない。制度をつくる前に、町として大切なものだという認識の上に立って、今後検討していく必要がある。

人口減少の邑楽町全町民の為にすべきか

小沢泰治議員 邑楽町の人口の減りようは、ほかと比べても非常に減少率が高い。平成16年が2万7916人、それが平成25年では2万7062人でマイナス3・059%の人口が減っている。邑楽町の人口構成を見ると、この減少傾向はますます強くなると思う。まず、減り続ける邑楽町の総人口について、町長の感想を一言お願いする。

町長 邑楽町だけが特に減少率が高いというふうな認識は私自身持ってない。

小沢泰治議員 今の町長の話を聞いて、私、がっかりした。太田市はプラス2・765%、邑楽町マイナス3・059%、その差は5・824%である。近隣の市町と大して変わらないというその認識が私は間違っていると思う。例えば東毛5町で一番減りの少なかったところが千代田町で、マイナス1・643%。そうすると、邑楽町は千代田町の倍減っている。明和町ではマイナス1・837%。人口減が邑楽町より1・2%少ない。それは本当にどうかい数字である。それなのにおなじような状況ではないかという認識が間違っていると思う。がいかがか。

町長 邑楽町が他市町に比べて特に減少率が高いということの認識は持っていない。

小沢泰治議員 平成25年度

要がある。
・ 町温泉掘削事業創設を
その他の一般質問

は1年間で231人の人口が減った。そういう中で、この減りぐあいを、先ほど大したことはないという町長の答弁だが、少なくとも町のために何か必要か。邑楽町は幹線道路354号、122号、あるいは県道が走っている。ぜひ、電光掲示板を設置していただきたい。なぜなら幹線道路は不特定多数の方が通過する。ちらちら動く看板をつけたならばそれが目につく。邑楽町の白鳥、観音様、沼、充実した子育て施設、すばらしい自然生活環境、そして立地的条件、東北道館林インター、北関東道太田桐生インターの中間点。各インターから15分から20分の場所。桐生市、足利市、佐野市、栃木市、古河市、行田市、熊谷市、深谷市、その中心が邑楽町である。1世代、2世代、3世代、そういう方々がここに住んでも、自然環境はいいし、よかつたということになると思う。自信を持ってぜひ邑楽町の

よさを町民だけでなく、大勢の日本中の皆さんに知っていただく。それが電光掲示板の設置。

電光掲示板は特効薬でない

町長 電光掲示板をつけたからといって、単に人口が増えるというものではないと思う。それは宣伝効果はあるだろうが、人口増というところで考えれば、電光掲示板をつけたから即特効薬とはならないと私は思う。

その他の一般質問
・ 多くの町民の現状を確りとみた行政執行を



意見書

議員提案の意見書2件を可決しました。意見書は関係行政庁に提出しました。

日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書

「手話言語法」制定を求める意見書



議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、**9月9日から19日**を予定しています。

(開会は原則、午前10時 一般質問は10日、11日を予定)

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したものは、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館(長柄公民館)、勤労青少年ホーム(ヤングプラザ)に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai>
詳しくは、議会事務局まで 88-5511(内線300)

請願・陳情

4件の請願が受理され、審査の結果次のとおりになりました。

【採択となった請願】
▼2015年NPT再検討会議に向けて日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書採択の請願
請願者 前橋市大手町 原水爆禁止群馬県協議会 代表理事 滝沢俊治

▼手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願
請願者 館林市上赤生田町 館林市聴覚障害者協会 会長 早川健一

【継続審査となった請願】
▼「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願

兵庫県尼崎市

あまがさき



高井 弘
(明野・34区)

私 のふるさととは、兵庫県尼崎市という工業都市で城下町、農村といくつもの顔を持つ、人口が約45万人の中核市です。

ん、忍者が主人公の人気アニメ「忍たま乱太郎」の作者の尼子騷兵衛さん、角界では栃乃若関さん等がいま

り回っていた風景は今も健在です。何より、邑楽町の人達にも似た、義理人情に厚いおっちゃん、おばちゃんがたくさんいる町です。

みなさんも機会があれば、ぜひ一度、覗いてみてください。

阪神広域圏に属する尼崎市は、大阪平野の西部に位置し、電車で京都まで35分、大阪まで5分、神戸まで15分、大阪空港まで30分とどこへ行くにもアクセスが充実しており、非常に生活のしやすい町でもあります。

尼崎市出身の著名人では漫才師のダウン・タウンさ

その他、有名な名産品という物こそありませんが、やはり子どもの頃から食べ親しんできた「お好み焼き」等は、今でも地元に戻ると一番に食べる、私にとって最高のごちそうです。

ここ十数年で駅前を中心に大きく開発されてきた尼崎市ですが、路地を一本裏に入ると、子どもの頃に走



議会だより
No.140



1日1,000本以上の電車が停車するJR尼崎駅

編集後記

梅雨に入り、上空の寒気の影響で大気の状態が不安定になり、局地的に大雨による水災害やヒヨウ災害が発生しています。今年も異常気候の夏になりそうです。

昨年の富士山や三保の松原に続き、今年6月の第38回世界遺産委員会で、明治5年に開設された富岡製糸場と絹産業遺産群（田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴）などが世界遺産に登録され、国内では18件目の世界遺産登録になりました。

さて、6月13日から19日までの7日間、第2回定例会が開催されました。地方税法の改正に伴う税条例の一部改正や平成26年度一般会計補正予算などの表決がなされました。一般質問では9人の議員が2日間にわたり、町政に対し熱心な質問と提案を行いました。

広報委員会では、町民の皆様にご愛読をよろしく申し上げます。

(神谷記)